

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ひまわり 放課後等デイサービス		公表日 2025年 2月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・適切ではあると思うが、スペースが狭く感じることがある。	適切ではあるが、より自由に身体を動かせるように、公園利用や施設利用なども検討している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・職員数は適切だが、子ども達の自らの意思の行動を邪魔しないよう工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・さらに視覚的にわかりやすくしていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・清潔にはしているが、職員全員が思える必要がある。	・日々の清掃に加え、数カ月に一度の大掃除、整理整頓の機会を作っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・その日の対応は難しくても次回は対応できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・個々の支援目標を確認、それに合った支援をしているか職員間で確認できていると思う。 ・できる限り参画できるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ミーティングでスタッフ全員で振り返り改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・普段から意見を言いやすい環境を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・今は行っていないので検討してみる。	・今後導入を検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・ミーティング内での職場研修で職員の知識向上につながっていると思う。 ・事業所内で研修したり、外部でも希望者は自由に研修を受講できる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・現在作成中、近々公表する予定。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	5		・アセスメント分析には充分時間を取っている。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・管理者、担当者だけでなく、同時間利用している児の担当者や担当外の職員も参加し回覧にて全員が共通理解する体制が取れている。 ・関わるスタッフが全員参加できるカンファレンスを実施し、難しい時には必ず報告している。	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援計画は必ず職員に伝え、計画に沿っているかは療育の振り返りで確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・フォーマルなアセスメントの機会が少ないので検討してみよう。
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・設定されているが職員全体が理解できるような取り組みを考えていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・何をやるかは関わる職員で療育前に考え、準備している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・毎回振り返り等することで固定化しないようにしている。	・客観的な意見が聞ける工夫をしていきたい。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5			・今必要としている活動がその児の発達をみて検討し支援に繋げている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・毎朝ミーティングをしています。 ・療育前に全員で情報共有を行っている。 ・必ず打ち合わせをしているが、作業しながらのことが多いので改善したい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			・少しでも気になった事は振り返りをしています。 ・終了後難しい時は、翌日、次の支援前に振り返っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・記録を検証。 改善に繋げられる記録の取り方を考える。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			・引き続き対応したい。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4				
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			・本人が自己選択できる支援のみを行っている。難しい場合は今できる自己選択の発達段階見極め支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・参加の機会がほとんどない。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		・連携する体制は整えており、今、教育と繋がりができ始めたところである。 いつでも対応可能なことを伝えていく。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		・助言を受ける場面を経験してみたい。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4			
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・送迎利用児には中々全てを伝えることは難しいが、LINEなどを通して伝えている。 ・送迎時、面談時間を取って伝えている。	・保護者と一致感を持てるようより良い伝達の仕方などを工夫、学び続ける。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・ほぼ毎月開催している。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。					
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。					
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・情報共有しているが、保護者を通して行っている。 ・事業所が使用できる駐車場が使用できない時にはメールで連絡を下さっている。	
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		・時と場合によるが、以前属していた団体からの情報共有はしていない気がする。 ・児発からの利用者がほとんどなので情報共有しやすい。	
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		・卒業児が今のところなし。 ・利用対象児が小学3年生まで。	

	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		・必要となれば参加していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・見学児、契約時に説明している。	・時間が経つと保護者の記憶に残っていないと感じるので、記憶に留めて頂ける工夫を検討。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・面談時に家族のニーズを聞いている。 ・中には子どもの意向を聞いてきている保護者もいる。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・作成時には必ず説明する。 わかりにくい時には、図や説明を加える。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者からの相談には即時に受けるようにしている。 様子をみてこちらからも声を掛けるようにしている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・研修、茶話会等で保護者同士が話せる機会を設けている。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談は伝えやすい関係を築くようにしている。 ・苦情はまだない。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月、通信を発行している。 必要であれば違う発信方法も検討する。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・留意しているが引き続き見直しを続ける。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・配慮しているが全職員に伝えていく。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・機会があれば行事を検討する。	
非 常 時 等 の 対 応	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・学校に行きたくないなどの相談に迅速に対応していると思う。 ・相談にはその都度応じるとともに、普段から話しやすい関係作りに努めている。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・実施しているが、更に保護者等に周知しやすいように検討している。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・訓練をしてその上で問題点や改善点を出している。 ・行っているので継続する。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・保護者から必要な情報を聞き取り、都度、確認、報告をしている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・医師の指示書ではないが、保護者に確認しアレルギー対応を行っている。 ・検査結果のコピーの提出、保護者に対応方法を提出して頂いている。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・行っているが引き続き取り組んでいく。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・緊急連絡網を利用している。 ・周知しているが更に徹底していく。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・共有しているが、職員一人一人の受け止めが異なる差を縮めていきたい。	
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修を行い対応している。		
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・職員ミーティングで検討するようにしている。		